

北区きらりと光るものづくり顕彰

発行

北区地域振興部産業振興課商工係

〒114-8503 北区王子1-11-1 北とびあ 11階

Tel: 03-5390-1235 Fax: 03-5390-1141

HP: <http://www.monozukuri.city.kita.tokyo.jp/>



平成26年度
受賞企業・技能者概要

平成26年度
北区きらりと光るものづくり顕彰

北区きらりと光るものづくり顕彰とは

北区きらりと光るものづくり顕彰事業は、区内の優れた企業活動・技能・技術などを顕彰し、北区の「ものづくり」の素晴らしさを広く内外にPRすることを目的としています。

受賞一覧

1. きらめき企業部門 3社

石塚化学産業株式会社

インターリハ株式会社

株式会社新興グランド社

2. きらめきの技人部門 4名

表谷 清 (丸清洋傘加工所)

関 誠 (有限会社大東ステンレス研磨工業)

若手枠 木島 慎哉 (オーダーR)

若手枠 田中 麻子 (東和製本株式会社)

北区きらりと光るものづくり顕彰
過去受賞者一覧

平成25年度

きらめき企業部門
R&B エンジニアリング株式会社
ダイナトロン株式会社
株式会社田中医科器械製作所
木工房藤澤株式会社

きらめきの技人部門
井戸 崇史 (READY OR ORDER)
岩淵 裕司 (ニューコーガイ株式会社)
中島 康敏 (株式会社田中医科器械製作所)
選定枠 井家 奈津子 (電子磁気工業株式会社)
選定枠 猿田 和弘 (株式会社田中医科器械製作所)
選定枠 本田 達也 (木工房藤澤株式会社)

平成24年度

きらめき企業部門
エスケー石鹸株式会社
株式会社奥野技術研究所
第一化学工業株式会社
電子磁気工業株式会社
東京セイル株式会社

きらめきの技人部門
近藤 志能夫 (近藤美宝)
佐藤 栄作 (第一化学工業株式会社)
白石 雅信 (白石製作所)
遠山 広 (ロワンモニターニュー)

平成23年度

きらめき企業部門
株式会社神谷プラスチック製作所
株式会社東洋精機製作所
株式会社日乃本錠前
株式会社フオンデザイン

きらめきの技人部門
石川 昭一 (東和製本株式会社)
加藤 光男 (ニューコーガイ株式会社)
小島 功 (銀工房こじま)
齋藤 恒 (齋藤ベルト商会)
柴山 明宏 (柴山加工)
永嶋 成記 (黒田機器株式会社)
鈴木 勇蔵 (株式会社小謝ネーム刺繍店)

平成22年度

きらめき企業部門
株式会社ジェイ・ティー・アール
株式会社エーティーエー
極光電気株式会社

きらめきの技人部門
矢口 昇 (有限会社シャボージャパン)
高木 弘明 (有限会社タカギ美芸)
本木 健 (本木注射針製作所)
木暮 幸次 (株式会社博美堂)
菅原 勇 (ジャパン・プラス株式会社)
大久保 賢司 (株式会社ナカガ)



木島 慎哉 オーダーR

所在地：東京都北区堀船 3-32-3 電話：03-6240-8176
<http://homepage2.nifty.com/kijim-ear/>



木島慎哉さんは大学卒業後、インポートブランドの靴販売からキャリアをスタート。店長経験・シューフィッターの資格を経て自分の手で靴を作りたい気持ちを買き、都立東職業能力開発センター台東分校製つこ科で靴つくりを学び、婦人靴メーカーでの企画職ののち、2003年にオーダーRを開業しました。

初めは、'Shinya KIJIMA' の名で革靴・革小物を製作し、インターネット上で販売していました。木島さんの評判は次第に広まり、現在は、デパートや有名専門店などからの注文も受けています。オーダーRでは、靴ばかりでなく注文に応じて財布、バック、衣類、ギターストラップなど様々なものをつくっています。ユニセックスを意識した曲線を大事にした基調のデザインが好評で、製作が注文に追い付かず、2〜3年待ちの注文もあるといいます。デザイナーと同時に遣り手としても、己を高めていきたいという木島さんは、使いやすい、長く使えることを意識して、ステッチワークと革造り等、徹底的にこだわりを持って技能を磨いています。使いこんだ革の風合いを出すために、洗い加工を施したりと工夫を凝らしています。

木島さんは、物作りを後世に遺し復権させたいという思いから、工房で革小物・靴教室を開いています。これまでに約 200 人を教え、中には自営で身を立て革製品を生業とする生徒もいます。そして、木島さんは桑沢デザイン研究所や都立東職業訓練センターの人気講師。人と人の繋がりを大事にこれからも様々な事に挑戦していきたい。そう力強く語っています。



田中 麻子 東和製本株式会社

所在地：東京都北区赤羽北 2-2-12 電話：03-3905-0281



ものを造る仕事に就きたいと考えていた田中麻子さんは、仕事内容に「手仕事」とある東和製本の求人を見つけ、東和製本に就職しました。同社では、創業者で現会長の片腕であったベテランの石川昭一さんのもとで、貴重本や古書の解体・修復を習得しました。

田中さんが扱う古書は、著作権の切れた 50 年以上経ったものが多く、出版社や図書館に蔵書されていたものの、紙の酸化等、傷みの激しいものです。かつての名著や資料的価値が高い著作を出版社が復刻する際、本文をスキャニングし版を起すために、復刻本の製本に併せて原本の解体と再生を東和製本に注文します。

古書を傷めないで解体する「壊し本」には熟練が欠かせませんが、再生する「直し」にも工夫が必要です。上製本は一台(16 頁分)を糸でかがってあります。しかし、原本の紙を再度糸でかがると、傷みを烈しくし、再生はしても耐久性は乏しくなります。そこで、会長と石川さんは、糸でかがらない方法を考案しました。それは、本の背に溝を付け、そこに糸を埋めて固める方法で、古書を傷めず製本の強度も高めます。田中さんは、この方法を受け継ぎ、腕を磨いています。

田中さんは、古書の解体・修復の仕事は楽しくて、長く続けていきたいと言います。



石塚化学産業株式会社

所在地：東京都北区浮間 2-12-24 立石ビル 電話：03-3960-7511
<http://www.ieskk.com/>



石塚化学産業は、1954 年に設立された、プラスチック廃材のリサイクルの老舗です。日本では、1960 年頃からプラスチックの国産が本格化し、飲料水のケースなどの運搬用資材をはじめ、自動車や電機製品の部品などにプラスチックが多用されるようになりました。このようななかで、同社はプラスチック廃材リサイクルの国内における先駆的存在として活躍し、業界をリードしてきました。

現在、同社はプラスチック材料の販売、プラスチックの物性をコントロールするコンパウンド、リサイクルを事業の 3 本柱にしています。このなかで、長年の研究と経験で培われたプラスチックの物性をコントロールする改質技術は、特筆すべきものであり、プラスチック材料の品質を均質化する他、強度や難燃性を高めたものなど特殊な材料の供給を可能にしています。同社の改質技術はリサイクルにも活かされ、環境にやさしい循環型社会の構築が望まれるなか、自動車部品をはじめ様々な分野でのリサイクル材の活用範囲を広げ役立っています。

1 社長(前列右から 3 番目)と社員の皆様
 2 包装資材リサイクル設備
 3 小中学生の工場見学

インターリハ株式会社

所在地：東京都北区上中里 1-37-15 電話：03-5974-0231
<http://www.irosweb.co.jp/>



インターリハは、現社長の他、リハビリ機器メーカーに勤務していたメンバーが、優れたリハビリテーション機器の開発や販売を目指して設立した企業です。

リハビリテーションの先進国は、ヨーロッパやアメリカであり、これらの国々には優れたリハビリテーション機器が数多くあります。同社は、そのような機器を選びすぎて、日本の実情にマッチした機器の輸入販売からスタートしました。同社のリハビリテーション機器に対する知識、適切な機器を選定する力は、医療機関や大学などで高い評価を得て、機器の開発プロジェクトに参画するようになりました。また、同社はリハビリテーション施設を開設し、ここでの施術などを通して、リハビリテーションに関わる独自のノウハウを蓄積しています。

同社は、このような経験を活かして、自社製品の開発に乗り出しました。心疾患患者などのリハビリテーション計画を立てるための評価に使われる呼気ガス代謝モニター、歩行能力、姿勢を評価測定するジャイロを実用化し、リハビリテーションの現場で好評を博しています。今後は、アジアも視野に入れた製品開発を進めていくとしています。

1 社長(中央)と社員の皆様
 2 呼気ガス代謝モニター「Cpex-1」
 3 社屋外観

株式会社新興グランド社

所在地：東京都北区赤羽西 2-21-1 電話：048-227-3318
<http://www.shinko-grandsha.jp/>



1



2



3

1 2 疑似ラインストーン印刷
 3 会社外観

新興グランド社は、1948年に創業したスクリーン印刷の先駆的企業です。ビニール風呂敷やビニール玩具に使われるビニールシートの印刷などで経営基盤を築きました。

スクリーン印刷は、ビニールに限らずあらゆる素材に印刷できるのが特徴です。蓄光材や感温材、反射材などの印刷、また、厚膜の印刷ができることもスクリーン印刷の特徴です。同社はこのような特徴を活かして機能性を重視した印刷物に受注を拡げていきました。例えば、ドット状に樹脂を乗せた点字印刷があります。これは、刻印するように凹凸をつける従来の点字と違い、両面にドットをつけることができるので、点字図書や各種の取扱説明書、パンフレットなど幅広く活用されています。最近では、この点字印刷を応用した宝石を模した疑似ラインストーン印刷を考案しています。疑似ラインストーン印刷は、装飾性に優れ、ミュージカルなどのパンフレット、グリーティングカード、高級品パッケージや日本郵政のオリジナル年賀はがきなどに使われています。

今後も、特色ある印刷技術を考案し、機能性や装飾性に富んだ印刷を提供することが期待されます。

表谷 清 丸清洋傘加工所

所在地：東京都北区豊島 2-6-3 電話：03-3919-1822
<http://maruseikasa.com>



表谷清さんは、1949年に日本橋馬喰町の洋傘問屋に勤めて以来、傘づくりを続けています。洋傘問屋に勤めていたときに、表谷さんが造った傘を人気女優が大変気に入ってくれて購入してくれたことが、若い頃の自慢の一つでした。

表谷さんは、1960年に独立し、北区豊島の「いなり通り商店街」で「洋傘と履物の丸清」を開業しました。独立後は、問屋から傘の加工を請負う他、販売も始め、大きな工場の購買部などにも傘を卸すようになりました。

最近では1本1本手作業で作るオーダーメイド傘の人気の高くなり、製作と販売に力を入れています。表谷さんは、顧客の注文に応じて、通常の傘生地のほか、和服地や浴衣地、手拭いなどからも傘に仕立てています。また、四角い傘や変型傘などユニークで遊び心のある傘も造ることなどから、表谷さんのファンも増えています。

洋傘の骨は6~12本と色々で、素材もアルミやステンレス、グラスファイバー、カーボン、天然木など様々です。骨の長さも50cm、60cm、65cmなどがあります。表谷さんは、骨が開く角度と長さ、素材、本数をみて、開いたときに程良いなり具合になる長さに、傘の生地を裁断するのが傘づくりの要になると言います。

表谷さんの培ってきた技術は、デザイン日傘の工房を営む娘さんに受け継がれています。

関 誠 有限会社大東ステンレス研磨工業

所在地：東京都北区豊島 6-4-1 電話：090-8856-3359
http://www.monozukuri.city.kita.tokyo.jp/company/detail_16012.html



関誠さんは、1954年から金属の研磨に携わっています。厨房器具に使われるステンレス板や真鍮製の時計ケースの研磨に始まり、タンクローリーのタンクなど大物の研磨に携わるようになりました。

関さんは、1962年に北区豊島で大東ステンレス研磨工業を創業しました。独立してからは、化粧品メーカー、食品メーカー、薬品メーカーなどの工場のストレージタンク（貯蔵タンク）や貯湯槽といった大型構造物の研磨を広く手掛けてきました。また、曲面が多く複雑な形状をした各種のモニュメントの研磨も得意で、数多く手掛けています。

関さんが手掛ける研磨には、パイプレーション磨きや面磨きといった表面を装飾するための研磨と機能面を重視した研磨があります。これは、金属表面や溶接面のピンホール(小さな穴)を無くし、タンクの防錆性を高めたり、食品材料や薬品材料がピンホールに残り、腐食するのを防いだりする目的があります。関さんは、ステンレスの他にも表面粗さの異なる多種の金属材料を研磨します。複雑な形状や曲面の研磨とともに、材料の性質を見極めてピンホールを潰していくのが研磨技能の優劣を決める要だと関さんは言います。関さんの技は、若手社員に受け継がれ、業界にも広く伝えられています。